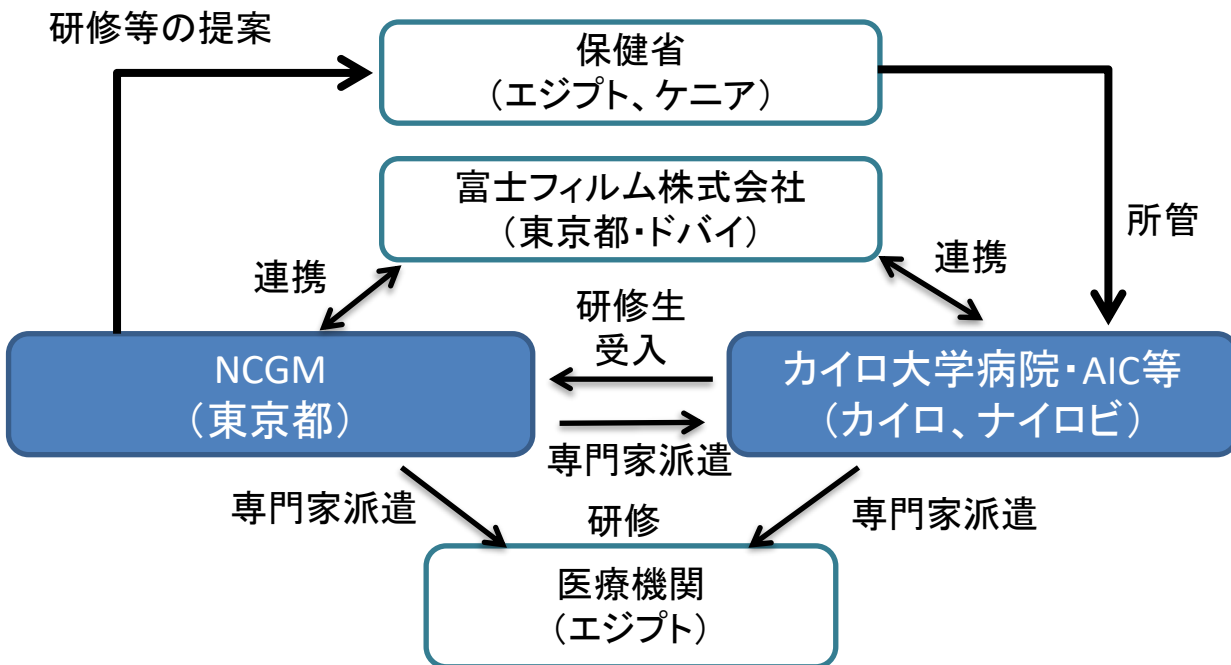


## エジプト・アラブ共和国及びケニア共和国乳房撮影技術強化事業

- 1.エジプト・アラブ共和国では、乳がん検診の普及のためにキャンペーンを行っているが、技術者が不足しており、技術支援の要望も高い。
- 2.ケニアでは1年に6,799人(2020年)が新たに乳がんを比較的若い年齢で発症しており、多くはステージⅢ又はⅣと診断されている。
- 3.カイロ大学病院・AIC等に乳房撮影の技術支援を実施し、エジプト国又はケニア国全体の乳房撮影技術水準の均てん化を図る。
- 4.NCGMの撮影技術者が、カイロ大学病院等に乳房撮影に関する本邦研修を実施し、本邦研修受講者とともにエジプト国内の他の医療機関に技術指導を実施する。
- 5.令和5年度にカイロ大学病院等への医療技術の向上が行われ、本事業終了後には、カイロ大学病院等を中心とした継続的なエジプト国内での研修の実施が可能となる。



### <研修スケジュール予定>

#### 10～11月 研修生受入(2名)

- ・日本の乳房撮影の技術指導
- ・乳房撮影装置の保守に関する研修

#### 12～1月 研修会の開催

(NCGM4名 カイロ大学病院等2名)

- ・エジプト国内医療機関で乳房撮影研修

#### 1～2月 ケニア国の病院視察・ディスカッション

(NCGM4名)

- ・乳房撮影に関する研修のためのディスカッション